経営比較分析表（令和6年度決算）

北海道　秩父別町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**	
-	72.85	98.56	5,594	

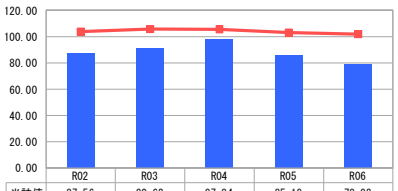
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
2,182	47.18	46.25
現在給水人口(人)	**給水区域面積(km²)**	**給水人口密度(人/km²)**
2,125	35.00	60.71

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

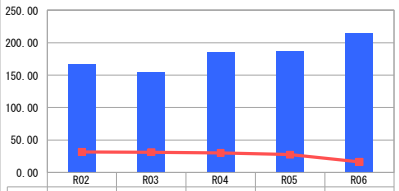
【102.02】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	87.56	90.62	97.84	85.19	78.93
平均値	103.82	105.75	105.52	103.10	101.77

②累積欠損金比率(%)

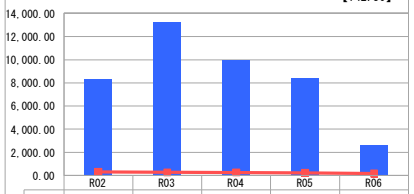
【26.96】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	167.18	155.07	185.60	186.68	215.23
平均値	31.54	31.15	30.01	27.32	16.12

③流動比率(%)

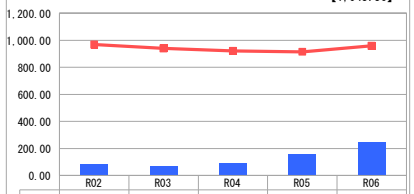
【142.39】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	8,335.17	13,240.65	9,968.59	8,403.33	2,606.71
平均値	302.22	263.45	249.43	217.55	157.71

④企業債残高対給水収益比率(%)

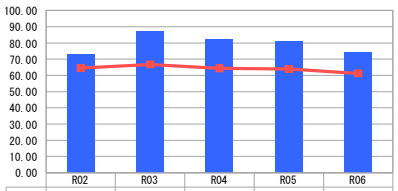
【1,043.36】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	84.40	66.93	88.03	154.53	244.64
平均値	970.36	940.22	922.05	916.17	958.97

⑤料金回収率(%)

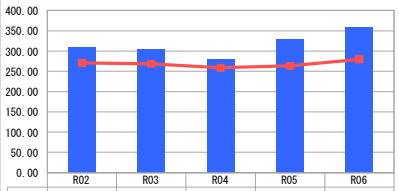
【56.19】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	73.26	87.26	82.05	81.11	74.36
平均値	64.52	66.80	64.39	63.95	61.25

⑥給水原価(円)

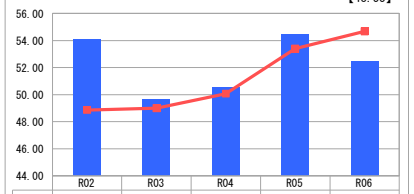
【285.60】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	308.42	305.00	281.45	328.69	358.55
平均値	270.68	268.88	258.90	263.56	279.83

⑦施設利用率(%)

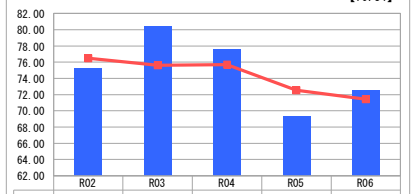
【48.33】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	54.11	49.64	50.56	54.46	52.48
平均値	48.86	49.00	50.07	53.40	54.69

⑧有収率(%)

【70.34】

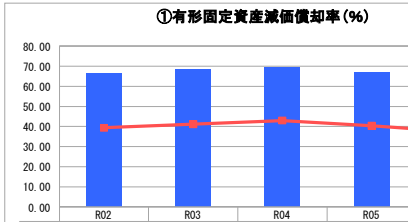


	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	75.26	80.48	77.62	69.31	72.53
平均値	76.48	75.64	75.70	72.53	71.44

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

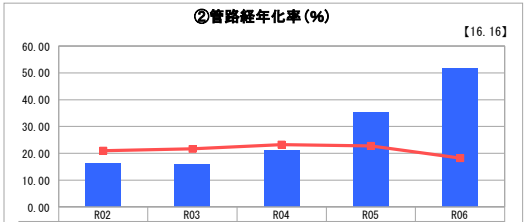
【35.50】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	66.48	68.19	69.64	66.83	64.09
平均値	39.41	41.18	42.98	40.46	37.10

②管路経年化率(%)

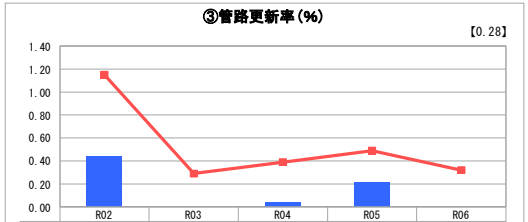
【16.16】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	16.33	15.83	20.95	35.44	51.65
平均値	20.97	21.65	23.24	22.77	18.22

③管路更新率(%)

【0.28】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.44	0.00	0.04	0.22	0.00
平均値	1.15	0.29	0.39	0.49	0.32

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、前年と比べ悪化し、依然として赤字となっており、類似団体と比較しても低い数値を示しています。

また、累積欠損金比率も類似団体と比べ非常に高く、増加傾向にありますが、これは漏水による有収率の低下、修繕費用の増加が主な原因と考えられます。

料金回収率は、類似団体と比べると高い数値を示していますが、料金収入だけでは賄えていない状況であるため、有収率の向上及び料金回収率の上昇のため積極的な取り組みが必要と考えています。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率と管路経年化率は、類似団体に比べ高く、これは町の水道施設・設備の老朽化が類似団体よりも進んでいることを示しています。

法定耐用年数を経過した水道管は現在51.65%と増加しており、2028年頃には第2次拡張事業で建設された水道管が一気に法定耐用年数を迎え、全体の70%を超える見通しです。

今後配水管路更新のための計画を策定し、効率的な更新・耐震化を行っていく必要があります。

全体総括

人口の減少と高齢化により今後料金収入の増加は見込めない状況にありますが、これに対し、老朽化した水道管や施設の更新等には莫大な経費を要します。

住民のライフラインとして安定した水の供給を図るため、中長期的な視野に立った計画的・効率的な水道施設の改修や更新、維持管理、資金確保、適正な水道料金のあり方について検討していきます。